病院のお仕事いろいろ

ミスのない医療を

医療技術部
臨床工学部門
臨床工学技士

近田 優介
（ちかた ゆうすけ）

病院では、血液浄化装置や人工心肺装置、人工呼吸器など診療に必要不可欠な様々な医療機器が存在しています。近年、新型コロナ感染症の重症者治療に使われることでメディアによって取り上げられたECMO（エクモ：体外式膜型人工肺）もその一つです。臨床工学技士の主な仕事はこのような医療機器の保守点検及び操作を行うことです。医療機器にトラブルが発生すると患者さんの生命に関わる重大な事故に繋がる恐れもあるため、臨床工学技士には、医療機器の安全性確保及び有効性の維持に関する高い専門性が求められます。

臨床工学技士の業務について、「他の職種でも同様ですが、医療にミスは許されません。知らないということも許されません。常に完璧であることが求められます。」と近田さん。また、大学病院特有のこととして「大学病院は、診療だけでなく教育や研究の場としての側面もあり、最新の医療機器を使うことも多いです。しかし、これも必ず安全を担保しなければならないため、大変注意深く行う必要があります」ともお話ししてくれました。

常にミスは許されないという大きなプレッシャーを感じる業務の中でも、近田さんが担当されている救急集中治療室などの重症の患者さんの症状が改善し、退院されたり、一般病棟に移られたりした際はやりがいを感じるとともに、そのように退院された患者さんが、数年後に検査に来られたなどの話を聞くと、とても感慨深いとのことでした。

今後取り組みたいことについては、「診療についてはもちろんですが、徳島大学病院の臨床工学技士には若手がたくさんいますので、彼らを育てていくことです。仮に彼らがここを離れても、他の病院から見て徳島大学病院でしっかり学んでいるんだなと思っていただけるようにしていきたい」と語ってくれました。

治験を実施しています

現在、開発中の医薬品の候補（治験薬）あるいは医療機器を用いた治験を、以下の病気を対象に実施しています。参加いただいた患者さんにおけるデータを集め、有効性や安全性を確認して医薬品や医療機器としての「承認」を得ることが治験の目的ですが、参加いただいた患者さんにとって良い効果をもたらす場合もあります。まずは、よく情報を得ていただきたいと思いますので、**お気軽にお問い合わせください。**

- 尿路上皮癌
- 腎細胞癌　●肺癌
- 筋層浸潤性膀胱癌
- 多発性骨髄腫
- 潰瘍性大腸炎
- 小児2型糖尿病
- 転移性去勢抵抗性前立腺癌
- てんかん　●統合失調症
- 間質性膀胱炎
- 心臓リハビリテーションの適応となる心疾患
- ALS（筋萎縮性側索硬化症）
- 慢性線維化性間質性肺疾患
- 慢性炎症性脱髄性多発神経炎（CIDP）
- 慢性流涎症（唾液過多）
- 特発性肺線維症
- ALアミロイドーシス
- 多巣性運動ニューロパチー（MMN）

ご協力お願いします。

ちけん君は日本医師会治験促進センターのキャラクターです。

問合せ：
総合臨床研究センター
tel.088-633-9294